

ハシブトガラス



ハシブトガラスは「共生の森」で一年中見ることができる野鳥。

ナンキンハゼの木に集まって夢中で実を食べていた。

食べ物の少ないこの季節、ナンキンハゼには、いろいろな鳥が集まる。ナンキンハゼは「共生の森」で鳥により広がる典型的な木のひとつ。

冬の「共生の森」



センダン



アキニレ



尾根の道



中腹の道



落葉樹



落葉樹



水辺



クズ原

タヒバリ・ハクセキレイ



互いに、気にすることなくエサを探す



タヒバリ



ハクセキレイ



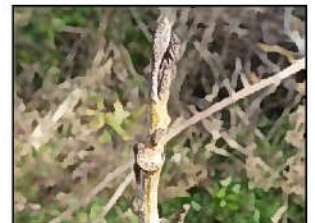
タヌキ糞(センダン)



タヌキ糞(ピラカンサ)



強風で落ちたワシントンヤシ葉



シナサワグルミ 冬芽



スイセン



冬の ヒガンバナ

防波堤を越える波しぶき



波により運ばれる植物がやってくる

ヒバカリ【初登場】



植樹祭の草刈りを終えた場所で ヒバカリの死がいが見つかった。体長は 22.5 cm。

ヒバカリは山手で たまに見かけることのあるヘビで、「共生の森」でヒバカリが見つかるとは思っていなかった。

「共生の森」には いつ、どのようにしてやって来たのでしょうか。

イタチ



見かけるが、写真になかなか撮れないイタチ
「ダーウィンが来た」で紹介された シベリアイタチか

マッコウクジラ ・ イルカ



「共生の森」の横を通り 1月23日から堺泉北港に入り込んでいた マッコウクジラ（2月4日）



死んだクジラの横を イルカが泳ぐ。イルカは少なくとも3頭。港内で 魚を追いついていた（2月18日）
クジラは「共生の森」のある堺第7—3区に埋設された数年後に掘り出され、骨格標本になるとのこと

見かけた 生き物・植物



ツチイナゴ



キタテハ



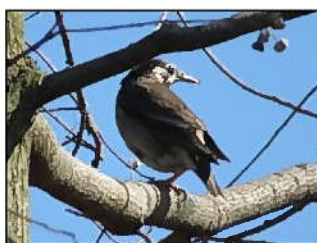
ヒヨドリ



カワラヒワ



アオジ



ムクドリ



ホオジロ



ハシビロガモ

ウグイスが鳴き始めていた



ホトケノザ



カラスノエンドウ



オオイヌノフグリ



スイセン



マサキ



ハマウド

ヌマガエル



植樹祭で参加者が土を掘っていると冬眠中のヌマガエルが出てきた。斜面の中腹で水辺からは離れた場所。

地面にカエルを置くと 土の中に潜っていた。まだもう少し暖くなるまで休むよう。

ヌマガエルは「共生の森」がまだ草原のころの平成 20 年(2008)にはやってきていた。

タヌキの ためフン



タヌキの「ためフン」からセンダンの木が生えていた



メダカ水路のメダカが生きていた

見かけた 生き物・植物



モズ



シジュウカラ



カワラヒワ



ツグミ



ヒメオドリコソウ



ツルニチニチソウ



ホトケノザ



ビワ



モモ



スイセン



ハコベ



フラサバソウ

第 19 回 共生の森 植樹祭



134名の参加により 22 種 550 本の苗木を植栽
樹種：コナラ・エノキ・ウワミズザクラ・ヤマザクラ・ヤマモモ・ヤマハゼ・エゴノキ・ナラガシワ・イヌシデ・ミズキ・クリ・イロハモミジ・ガマズミ・ネジキ・クマノミズキ・シイ・イヌマキ・クス・コバノガマズミ・ナツハゼ・ムラサキシキブ・ノリウツギ

ムネアカオオクロテントウ



クズのツルにマルカメムシと一緒にいるテントウムシがいた。黒いはねには光沢があり、周りの景色を写していた。

マルカメムシの幼虫を主に食べるというムネアカオオクロテントウ。外来種で大阪では2015年頃から確認されているとのこと。

臭いマルカメムシを食べるとはありがたい半面、生態系の微妙なバランスが崩れることがないのか気になるところでもある。

アオバト



林の中を歩くと、よくキジバトが飛び立つ。遠くにとまった鳥を撮って後で確認するとアオバトだった。これまでキジバトと思っていた中にもいたのかもしれない。

ボラの稚魚



海につながる水路にボラの稚魚が群れていた
川を遡る水生生物は流れ出る淡水を捉えやって来る

見かけた 生き物・植物



ツバメシジミ



ベニシジミ



ヤマトシジミ



シオカラトンボ



ショウジョウトンボ



ムスジイトンボ



ハマサジ



ハマウド



ウシオハナツメクサ



ヒルザギツキミソウ



オランダガラシ



ナイバラ・アオヒメハナムグリ



シナサワグルミ



アカメガシワ



ヒラドツツジ

トベラの 周りを飛び回る アオヒメハナムグリ



オオヨツボシゴミムシ



鮮やかな黄色の斑紋が特徴。大阪府絶滅危惧Ⅱ類
河川敷などで見られることが多いよう。
大和川を経由してやってきたのか。

タイリクアカネ



タイリクアカネは「共生の森」で秋に多く見られるトンボで、12月の霜の降りるころまで見ることができる。「共生の森」で数の多いトンボ。

5～6月にも姿を見ることから「共生の森」で羽化していると思われるが、この日見かけたのは1匹。秋に見る数とはバランスがとれていないような感じがする。そして、7月以降、夏場に「共生の森」で姿を見ることはない。

次に「共生の森」で姿を見るのは10月。

ツマグロヒョウモン



羽がボロボロのツマグロヒョウモンがいた。ツマグロヒョウモンは幼虫で冬を越すが、成虫で冬を越せるものもいるよう。

見かけた 生き物・植物



コフキトンボ



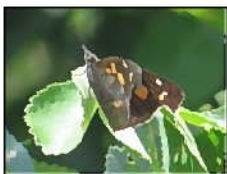
シオカラトンボ



ショウジョウトンボ



キタキチョウ



テングチョウ



ツバメシジミ



ニホンミツバチ



クマバチ



セグロアシナガバチ



コメツクムシ



ノイバラ・虫こぶ・バラハタマシ



メダカ



ザクロ



セイヨウイボタノキ



アツバキミギヨラン



ハマヒルガオ



ハマウド



ハマサジ 花茎を伸ばす



ミヤコグサ



チガヤ



ノビル

クワの実と タヌキ



クワの実を食べたタヌキの紫色のフンが落ちていた
アオヒメハナムグリが混ざるものも

・その他：モンシロチョウ・ゴマダラチョウ・チャバネセセリ・モンキチョウ・アオスジアゲハ・アオモンイトトンボ・ギンヤンマ（写真あり） ホトトギスが鳴いていた

アカテガニ 【初登場】



海側の水路の集水桧にアカテガニがいた。

アカテガニは 海岸林などに棲む陸棲のカニで産卵時に海と林を行き来する。親ガニが泳いでやって来ることはないので、大阪湾をさまようアカテガニの幼生が「共生の森」から流れでる淡水をたどり水路にやってきたものと思われる。少なくとも数年は「共生の森」で棲んでいたよう。

この日みつけたカニは3匹。「共生の森」に定着するのでしょうか。「共生の森」にやって来たカニは、モクズガニに続いて2種類目。

キアゲハ 幼虫



海辺のハマウドに キアゲハの幼虫がたくさんいた



ノランジン



アカメガシワ



アレチムラサキ



ドクダミ

見かけた 生き物・植物



今年はコフキトンボが多い
コフキトンボ・マイコアカネ



マイコアカネ
大阪府 絶滅危惧種



ウラナミシジミ



キマダラセセリ

ウラナミシジミ: 今年はやって来るのが早いのか、ここで生まれたのか。



ツバメシジミ



ヤマトシジミ



モンシロチョウ



ショウジョウトンボ



シオカラトンボ



チョウドンボ



ミミズの塊にシテムシが。鳥？がミミズをはいたのか？

メダカ 水路



今年6月の堺市の雨量 333 mmは 1976 年以降 4 番目の記録。冬に一度は干上がった水路も水があふれ、上流から生き残ったメダカがやってきていた。

・その他：モンキチョウ・キタキチョウ・アオスジアゲハ・アオモンイトトンボ・ギンヤンマ（写真あり）
ホトトギスが鳴いていた

ハマゴウ(シソ科) 【初登場】府絶滅危惧Ⅱ類



青紫色のハマゴウの花が咲いている。

春にハマゴウがあると聞き、海沿いを探したが生えているのはこの1株だけ。

ハマゴウは海岸の砂浜に生える植物で、果実が海流によって運ばれる海辺の植物。

「共生の森」へは大阪湾の海流に乗ってやって来たと考えられる。

府内での数は多くなく大阪府絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。今後、広がるのでしょうか。

モクスガニ



今年の梅雨は降水量が多く、水路の水量が豊富。しばらく姿を見かけなかったモクスガニがいた。

降水量が多く ひと月ほど水没している車道も



見かけた 植物・生き物



ハマウド



イソヤマテンツキ



アカカタバミ



オッチカカタバミ



ツクサ



コマツナギ



ヤブガラシ



ナンキンハゼ



タイワンウチワヤンマ



ギンヤンマ



アオメアブ・コアハナムグリ



ヤブキリ



ツマグロヒョウモン
ウスバキトンボ



ウラギンシジミ



例年秋にやって来るウスバキトンボが多くみられた。今年はやって来るのが早いのか。市街地では一週間前から鳴いているクマゼミはまだ鳴いていない。ツクツクボウシが2箇所鳴いていた。

その他：モンシロチョウ・モンキチョウ・キタキチョウ・アオスジアゲハ・ゴマダラチョウ・ヤマトシジミ・ツバメシジミ・シオカラトンボ・ショウジョウトンボ・チョウトンボ・アオモンイトトンボ・ツクツクボウシ (O写真あり)
クマゼミまだ・キリギリス鳴いていた

タイワンタケクマバチ 【初登場】 外来種



黒いクマバチ。タイワンタケクマバチがいた。
枯れた竹や竹柵などに穴をあけて営巣する。
2006年に愛知県で確認され その後、各地に
広がっているとのこと。今年の夏、泉州地域の
竹林の多い市で見かけることがあったが、竹の
少ない「共生の森」で確認したのは初めて。今後、
定着していくのでしょうか。

セグロアシナガバチ



暑い時間帯に ハチが巣に密集していた。



マイコアカネ



アオモイトトンボを食べるアオモイトトンボ

見かけた生き物・植物



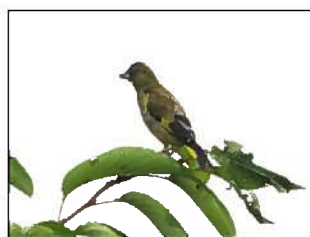
オオバン



コチドリ



セッカ



カワラヒワ



アカテガニ



モクズガニ



サトクダマキモドキ



ハネビロトンボ



アカタテハ



ウラギンシジミ



ハマゴウ



クズ



アカメガシワ



ヘクソカズラ

「共生の森」のセミ



ツクツクボウシ



アブラセミ

「共生の森」には、クマゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミの4種類のセミが棲息している。
今年の夏は、クマゼミが少なかったような印象。

その他：モンキチョウ・キタキチョウ・ヤマトシジミ・ヒメジャノメ・シオカラトンボ・ショウジョウトンボ・ウスバキトンボ・ギンヤンマ・タイワンウチワヤンマ・クマゼミ（写真あり）
エンマコオロギが 鳴き始めていた

リスアカネ



羽の先端に褐色の斑がある リスアカネ。
樹林に囲まれた木陰のある池沼や湿地に棲む。
「共生の森」では6年前(2018)に一度見かけて以来のトンボ。
今回、離れた場所で1匹ずつ見かけた。
複数いたことから、環境が整い「共生の森」に定着したのかもしれない。

アジイトンボ (初登場)



「共生の森」で確認した 19 番目のトンボ



トノサマガエル

ヌマガエル

カエルが増えてきた

見かけた生き物・植物



ハネビロトンボ



ゴマダラチョウ



ヒメジャノメ



ウラギンシジミ



ヒメスズメバチ



キリギリス



ムカデ



ムネアカオクロシトウ



センニンソウ



ツルマメ



ヤハズソウ



イヌコウジュ



イタドリ



オトコエシ



ヌルデ

ツクツクボウシ



7月～9月まで「共生の森」で一番ながく鳴くセミ
ホシハジロ



セミが鳴いているが、冬鳥がやってきた。
今年の堺市の9月の平均気温は28.2℃。
1977年からの観測史上最高を記録。
暑い9月だったが季節は確実に進んでいる。

その他：キタキチョウ○・ヤマトシジミ○・ウラナミシジミ○・イチモンジセセリ○・キマダラセセリ○・アオスジアゲハ
シオカラトンボ○・ショウジョウトンボ○・マイコアカネ○・ウスバキトンボ○・ギンヤンマ○・タイワンウチワヤンマ
アオモンイトトンボ○ (○写真あり)

アオイトトンボ 【初登場】



これまで見かけない、大型の青いイトトンボが飛んでいた。とまる時には羽を開いてとまっている。

胸部と腹端に白い粉をふく成熟したオスのアオイトトンボ。

アオイトトンボは「共生の森」にやってきた20番目のトンボになった。

サンカクチバ



羽の形も模様も三角形のサンカクチバ 沖縄など南西諸島で多く見られる蛾。大阪でどのくらい確認されているのか分かりませんが、地球温暖化の影響で北上しているのかも知れません。



ヌマガエル



モクズガニ

見かけた生き物・植物



タイワンチヤンマ



ウスバキトンボ



リスアカネ



タイリクアカネ



マイコアカネ



アオモンイトトンボ



テングチョウ



ウラナミシジミ



ツバメシジミ



オオスズメバチ



トノサマバッタ



コカマキリ



ジョウビタキ



ザクロ



セイウアワダチソウ



フウセンカズラ 小さな花に対し実が大きい



タヌキ 昼間でもタヌキが多い

堺市の10月の平均気温は21.7℃。
9月に続き 観測史上最高を記録。(1977以降)
10月末にもトンボが多くいた。

その他：モンシロチョウ○・キタキチョウ○・ヤマトシジミ○・ツマグロヒョウモン・チャバネセセリ○・イチモンジセセリ○・
ショウジョウトンボ○・ギンヤンマ・ハネヒロトンボ○(○写真あり)

ヒバカリ

大阪府絶滅危惧Ⅱ類



ヘビがいたと写真をいただいたのはヒバカリ。ヒバカリは2月に死がいが見つかったが、今回は生きた個体がいた。「共生の森」に定着しているよう。ヒバカリはどのようにしてやって来たのでしょうか。複数の個体がやって来たのなら、ヒバカリがやって来れるようなルートがあるのでしょうか。

ヌートリア



水辺から600m程度離れた草むらに隠れたヌートリア。水辺でなくても機嫌よく暮らしている。

見かけた生き物・植物



ハクセキレイ



トビ



ウラナシジミ



タイリクアカネ



ハマゴウ



クコ



オオスズメバチ



ジョロウグモ



ゲジ



紅葉しているものもあれば(ナンキンハゼ)



紅葉していないものも(センダン/エノキ)



明石海峡大橋がよく見えた

その他：モンキチョウ・ベニシジミ○・ヤマトシジミ○・チャバネセセリ○・ツマグロヒョウモン○・ギンヤンマ○ (○写真あり)

紅葉



12月中旬になり平均気温が10℃を下回る日が続いた。この日は風もつよくセンダンの木の下にはたくさんの葉が落ちていた。木によっては紅葉が見ごろのもの、すっかり落葉したものもあり冬が近づいてきた。



紅葉 トウカエデ



落葉 センダン



紅葉



落葉

見かけた生き物・植物



メシロ



ジョウビタキ



ツグミ



ハクセキレイ



ハマシギ



ホシハジロ



チョウセンカマキリ卵塊



ハラビロカマキリ卵塊



タヌキためフン

タイワンタケクマバチ



竹林で冬眠しようとしていたとみられる個体が、「共生の森」に定着している模様



アキグミ



ノイバラ



ナンテン



ヒガンバナ



時々見かけるミミズの塊 何者の仕業か？



林と海の向こうに神戸の街と六甲山が

その他：この一週間 気温が下がったこと、この日は風が強かったことから見かけた昆虫は タイワンタケクマバチのみ。